

- 体型はスマート
- 羽の模様は単調
- 2 cm位の産卵管がある

- 体型は西爪の種形
- 羽に複雑な模様がある
- 産卵管は無い



すず虫を友に

秋葉二丁目 井浦由夫

秋の虫の代表は、何といっても鈴虫ではないでしょうか。その名の通り、鈴をころがすような美しい声で鳴く鈴虫。私は、父のあとを引きついでから三年ほどしかならず、まだ、初心者を終了するところまではいきませんが、部屋の四隅から聞こえてくる鈴虫のステレオの楽しさが忘れられず、毎年挑戦しています。

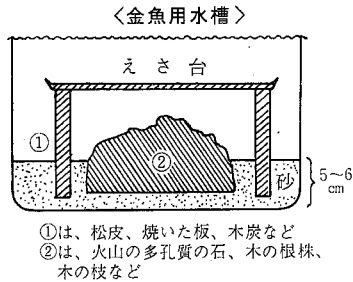
●六月の中ごろから飼育器をのぞいては、フーッと息をふきかけてみます。蟻くらのいものが動けば、生まれたのです。十日間ぐらいい孵化が続きます。

●えさは、「花かつおとこめか」となす。「この代表食品は、以後十月末から十一月上旬に死ぬまでかわりません。

●たくさんの子虫が出たら、みんなとまっていられるだけのとまり木をさしてやります。くろ色でざらざらした古木や木の枝などで。

●幼虫の前後期に数回脱皮、生まれて二ヶ月目に、最後の脱皮があつて成虫になります。

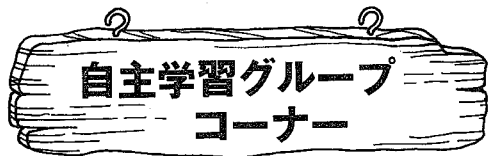
この頃から、食欲がさかんに



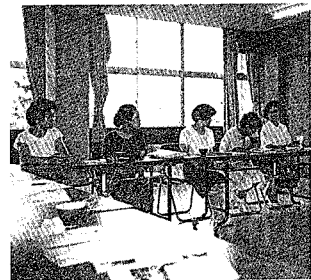
●私の使っている容器は、プラスチックの金魚鉢で、フタはクモなどの外敵を防ぐため、ピニールをあみをかぶせています。

●毎日楽しませてくれた鈴虫も十月に入るといよいよ産卵です。一匹のメスが百個の卵をうみおとし、十月下旬から十一月にかけて生涯を終わります。

毎年、七月の終わりに同族交配による劣性遺伝を避けるため「交換と頒布」の会合があります。初めての方は、この時分けてもらい、丈夫に育て、よく鳴く虫をふやされるのもよいと思います。



ポッポの会



「ポッポ」 「ポッポ」とあちこちから意見がでて、みんなの総意で運営することからこの名にしました。

会の前身は、中央婦人学級でいっしょに学んできた皆さん。活動の中心は、地域活動としてのボランティア活動です。

①月一回、「ボランティアお菓子の会」への参加。

②地域の高齢者の会への参加と交流を深める。

③「いしずえ作業所」にお弁当を作って届ける。

④他の市町村の福祉行政を視察して勉強会を開く等。

私達は、施設訪問を「ボランティアの旅にしよう」という考え方で実行に移しています。余裕がでてきたら、子供達と楽しくすごす身の回りの生活課題にも取り組んで行きたいと考えています。

会長は、金沢町一 木伏光子さんです。

「いきいき県民カレッジ」入学案内書のお問い合わせは生涯学習課へ TEL 22 9667

市民大学で学んでいます

①自然とくらしセミナー

新津市民大学が開講して、二ヶ月が経過しました。セミナー二九〇名の定員に対して延べ七〇〇名を超える入学希望があり、セミナーによっては五倍をこえたところでもありました。今号から、各セミナーの「授業風景」を紹介しましょう。

まず「自然とくらし」セミナーです。

このセミナーは、身近かな自然の素晴らしさを再認識するとともに、化学実験を通して、自然とくらしのかかわりを考えてみよう企画したものです。

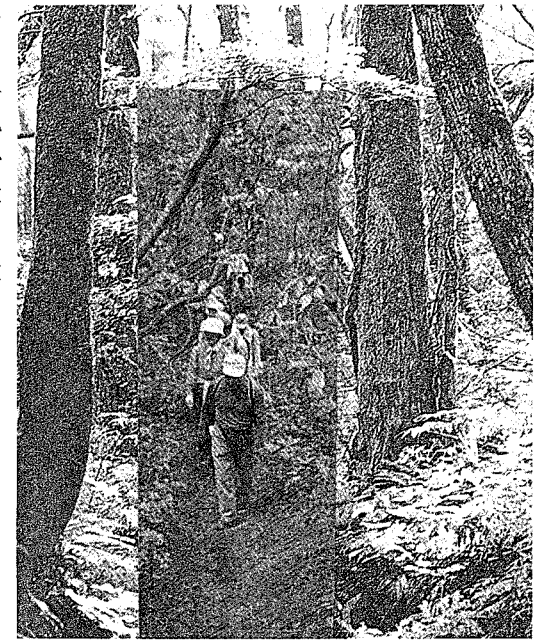
第一回は、植物の宝庫菅名岳を訪ねました。

五月九日、二十名の「学生」達が登山に挑戦するとともに、植物観察を通して自然の大切さを学びました。

海拔九〇九メートルのこの山は、ブナ、ユキツバキ、カツラ林など、二〇〇ヘクタール以上の豊かな自然林を有しています。

「森林土壌は、水に混ったゴミや、雨水に含まれている余分のミネラルを吸着し、それを、土中の微生物や植物が吸収します。だから、森林の水はきれいでいつも澄んでいるのです。」

講師の解説に学生たちは、熱心に聞かいていました。



市民文芸

短歌

雌雄異株に花つくとふ蚊草松の林の暗きに群るる

高橋 きよ子 (金沢町三)

聳り立つ樺一氣に芽吹き来て枝の隙間を日ごとに塞ぐ

伊藤 トミ (普通道町二)

俳句

すずらんや少女にはなき変声期

鈴木 清 (古田)

尼寺の昼を鎮めて岩清水

木村 八代子 (美幸町三)

川柳

業つまる壺を割ります虹の手で

神田 ヒロ子 (中野一)

笹舟を流す小川が見当らず

川崎 まさみ (本町一)